



ウェルカム！今日のテーマは「感謝」です。

「感謝すること」はあなたの心とからだを守ります！

【今週の暗唱聖句】 聖書の言葉は覚えると生活の中で力を発揮します！

ピリピ4：6～7

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」

この御言葉は実に多くの人に具体的な助けになってきました。この中には幾つかの命令と約束がセットになって出てきます。

- ★ 最初は「思い煩うな！」という命令ですが、生活の中で「思い煩っている」自分に気がついた瞬間、自分で自分の「心」に向かって犬に向かってするように「ダメ！」と命令しなければなりません。
- ★ その代わりすぐに「感謝」することを見つけましょう。どんな状況でも必ず一つは見つかります。思い煩っている自分に気がついたことも、神が自分の状況をご存知であることも感謝できます。
- ★ 次のステップは神に心を向け、その思い煩っている問題について、神に何を求めたいのか、極力「具体的」に考え、それを神に口に出して訴える(=祈る)ことです。書きだすのもいいでしょう。
- ★ ここでなぜ「人のすべての考え」と「神の平安」とが比較されているか考えましょう。自分が抱えている問題を神にではなく、人に相談すると、十人十色、ばらばらな答えが返ってきてしまいます。しかも、本当に自分を心配してくれるだけの時間がある人はどれくらいいるでしょうか？本気に心配してくれる人がいたとしても、その人が正しい判断をしている保証もなにもないのです。
- ★ このステップをキチンと踏むなら、問題はまだ全て解決できていなくても私たちの「心＝感情」と「思い＝理性」が、神から与えられる平安によって守られる、と約束されているのです。本当です！■

【先週のメッセージより】 ハバクク1：1～11

「あなたの神は小さすぎる」 Bill Schuit LMUSA 総主事

- ★ 神に切に祈っているのに、神が一向に聞いて下さらないばかりか、自分が避けたい方向ばかりに状況が進んで行ってしまう、というような体験をしたことがあるだろうか。ハバククと言う預言者はまさしくそのような苦しみを味わった人であった。
- ★ 紀元前7世紀の終わり頃の南ユダは偶像礼拝、神への背信に陥ってしまっており、ハバククはそのユダに対して預言したのであった。彼は国が悔い改めて神に立ち返り、神が国を建て直してくださることを期待していたが、神が示された答えは全く思いもよらないものであり、それは横暴な国、バビロン（カルデヤ人）を用いてユダを罰するというもの厳しいものであった。
- ★ ハバククは神がなさっていることが見えなかった。彼は自分が熱心に祈りさえするなら神は自分の期待に答えてくれると勘違いしていた。しかし神は私たちの一時的な喜びや救いよりも私たちの聖さを大切にされるのであって、民が聖くされるためなら、敵国に滅ぼされることすら、よしとされるのである。生温く、墮落してしまった現代の教会に対して神は同じことをなさらないだろうか。
- ★ 神は常に働いていらっしゃる。神が支配なさっている。神は主権者である。神は私たちが思っていない方法で祈りに答えられる。もし私たちが不忠実であられるなら、どのような方法を用いても、私たちをご自身のところに引き戻される。私たちのことを愛しておられるから。世の中がとんでもない状況になっても。彼に身を委ねよう。

【今週の英語】



In ordinary life we hardly realize that we receive a great deal more than we give, and that it is only with gratitude that life becomes rich. Dietrich Bonhoeffer 1906-1945

普段の生活の中で、自分が与えているよりも遥かに多くを受けていることになかなか気がつかないものである。感謝の心無しに、人生が豊かになることはないのである。